

環境地質学シンポジウム発表申込フォームへの記入などの方法について

第30回環境地質学シンポジウム発表申込フォーム

*必須

1. メールアドレス *

office@jspmug.org ←連絡先となるメールアドレス：必須

報告発表登録費及び超過料金の確認

発表登録費及び論文集原稿の規定ページ超過料金は下記リンク先にて必読ください。

http://www.jspmug.org/envgeo_sympo/30th_sympo/30th_sympo.html#会費

上記サイトで確認のうえ、質問2と質問3に回答ください

2. 報告発表登録費 *

当てはまるものをすべて選択してください。

内容に同意します。(Agree)

←発表申込には同意が必須

3. 論文集原稿の規定ページ超過料金 *

ページ超過料金：4,000円/2ページ

当てはまるものをすべて選択してください。

内容に同意します。(Agree)

←発表申込には同意が必須

1 題目発表

4. 報告発表題目 1_和文 *

※入力内容が英字のみの場合は(日本語)(英語)どちらの欄も英字を入力してください。

環境地質学シンポジウム報告発表登録例

5. 報告発表題目 1_英文 *

Registration example of the Symposium on Geo-Environmets and Geo-Technics

6. 著者名 1_和文 *

共著者名も記入 (例 田村嘉之・風岡修)

社会花子・地質太郎

共著者の区切りには、“・”を入力

筆頭著者名は主体的に研究、調査等をした者とする。

7. 著者名 1_英文 *

共著者名も記入 (ex. Yoshiyuki Tamura and Osamu Kazaoka)

Hanako Syakai and Jiro Chishitsu

共著者の区切りには、“,”を入力し、3名以上の場合は最後の共著者の前に“and”を入力する。

8. 発表形式 1 *

1つだけマークしてください。

口頭発表

ポスター発表

9. カテゴリー区分_1 題目 *

1つだけマークしてください。

**該当するカテゴリーを選択する。
カテゴリーにない場合、不明な場合は“その他”を選択する。**

- 地質汚染（単元調査法、有害物質の挙動、対策法など）
- 地下水（水循環、地下水盆管理、地下水質、地盤沈下など）
- 鉱物（零細および小規模金採掘（ASGM）、鉱山管理、物質循環、分析手法など）
- 地球倫理（研究倫理、ガバナンス、リスクコミュニケーションなど）
- 医療地質（有害地層、公害、風土病など）
- 古環境（陸水域、海域、地質環境の形成過程など）
- 都市地質（大地の持続的利用、人工地層、人自不整合、立地適正、都市計画など）
- 地質災害（地震、津波、強震動、液一流動化、地波、斜面崩壊など）
- 地球観測・分析手法と利活用（測地、土地利用、GIS、リモートセンシングなど）
- 教育普及（地質環境教育、社会学習、アウトリーチなど）
- 法地質（異同識別、地域推定、司法への応用など）
- 国際協力（IUGS活動、国際条約、国際市民活動など）
- 大地の社会・経済・法制度（ブラウンフィールド、スティグマ、地質資源、デジタル地質など）
- 地質環境とナチュラルアナログ（放射性廃棄物、地層処分、続性作用、酸化フロント、コンクリーションなど）
- その他

10. 報告発表内容 1 *

100字以内

**この報告発表には、発表内容の概要を100文字以内で記載する。なお、ここに記載している内容及び
選択した発表カテゴリー区分より、シンポジウムでのセッション区分と順番を決めるための参考とする。
(参考：93文字)**

11. もう1題発表しますか？ *

1つだけマークしてください。

いいえ 1題のみ 質問 19 にスキップします

はい 2題発表します。

2題発表する際は必ず、“はい”を選択する。

質問 12 にスキップします

2 題目発表

以下は、論文集への投稿が英文の場合の登録記載例

12. 報告発表題目 2_和文 *

※入力内容が英字のみの場合は(日本語)(英語)どちらの欄も英字を入力してください。

“和文”入力項目にも英文で記入

Registration example of the Symposium on Geo-Environmets and Geo-Technics, part 2

13. 報告発表題目 2_英文 *

Registration example of the Symposium on Geo-Environmets and Geo-Technics, part 2

14. 発表者名 2_和文 *

共著者名も記入 (例 田村嘉之・風岡修)

“和文”入力項目にも英文で記入

共著者の区切りには、“,”を入力し、3名以上の場合は最後の共著者の前に“and”を入力する。

Hanako Syakai, Jiro Chishitsu and Shoji Fujii

15. 発表者名 2_英文 *

共著者名も記入 (ex. Yoshiyuki Tamura and Osamu Kazaoka)

Hanako Syakai, Jiro Chishitsu and Shoji Fujii

共著者の区切りには、“,”を入力し、3名以上の場合は最後の共著者の前に“and”を入力する。

16. 発表形式 2 *

1つだけマークしてください。

- 口頭発表
 ポスター発表

17. カテゴリー区分_2 題目 *

1つだけマークしてください。

- 地質汚染 (単元調査法、有害物質の挙動、対策法など)
 地下水 (水循環, 地下水盆管理, 地下水質, 地盤沈下など)
 鉱物 (零細および小規模金採掘 (ASGM)、鉱山管理、物質循環、分析手法など)
 地球倫理 (研究倫理、ガバナンス, リスクコミュニケーションなど)
 医療地質 (有害地層, 公害, 風土病など)
 古環境 (陸水域、海域、地質環境の形成過程など)
 都市地質 (大地の持続的利用, 人工地層、人自不整合, 立地適正, 都市計画など)
 地質災害 (地震, 津波、強震動、液一流動化, 地波、斜面崩壊など)
 地球観測・分析手法と利活用 (測地, 土地利用, GIS, リモートセンシングなど)
 教育普及 (地質環境教育, 社会学習, アウトリーチなど)
 法地質 (異同識別, 地域推定, 司法への応用など)
 国際協力 (IUGS活動, 国際条約, 国際市民活動など)
 大地の社会・経済・法制度 (ブラウンフィールド, ステイグマ, 地質資源, デジタル地質など)
 地質環境とナチュラルアナログ (放射性廃棄物, 地層処分, 続性作用, 酸化フロント, コンクリーションなど)
 その他

18. 報告発表内容 2 *

100字以内

論文集への投稿が英文の場合でも“報告発表内容”には和文で入力する

この報告発表には、発表内容の概要を100文字以内、かつ和文で記載する。なお、ここに記載している内容及び選択した発表カテゴリー区分より、シンポジウムでのセッション区分と順番を決めるための参考とする。

(参考: 97文字)

質問 19 にスキップします

会員種別

19. 会員種別 * **学生・大学院生は社会地質学会会則第5条の規定となります。**

会費及び奨励賞対象者（学生・大学院生）の確認のため ※学生・大学院生は本学会会則第5条の規定による。

1つだけマークしてください。

社会地質学会会員（一般） 質問 21 にスキップします

社会地質学会会員（学生・大学院生） 質問 20 にスキップします

共催団体会員（一般） 質問 21 にスキップします

←共催団体はシンポジウム案内WEB等に記載している団体

共催団体会員（学生・大学院生） 質問 20 にスキップします

←共催団体はシンポジウム案内WEB等に記載している団体

その他（一般） 質問 21 にスキップします

その他（学生・大学院生） 質問 20 にスキップします

学生（大学院生）対象質問

20. 指導教官名 * **項目18で（学生・大学院生）を選択した場合に表示されます。**

藤井昭二

個人情報

21. 発表代表者氏名 *

当日発表される方の氏名を入力ください

社会花子

項目7及び14で入力した筆頭者を入力する。

ただし、当日の発表者が共著者の場合は、共著者の氏名を入力する。

22. 発表代表者所属先名 *

当日発表される方の勤務先名など

社会地質大学 理学部 社会地質学科

項目20に記載した方の所属先を記入する。

23. 連絡先 *

1つだけマークしてください。

勤務先

自宅

24. 郵便番号 *

半角で記入ください(例：260-0024)

261-0005

25. 都道府県名 *

千葉県

26. 市区町村名 *

記入例：千葉市美浜区

千葉市美浜区

27. 町名など*

記入例：稲毛海岸3-5-1

アパート、マンションなどの集合住宅名、号室も記入ください。

稲毛海岸3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室 気付

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム